

平成 29 年 8 月 25 日

JR九州コンサルタンツ(株)

吉野ヶ里歴史公園特別企画展のお知らせ

JR九州コンサルタンツ(株)が、管理委託業務に参加する国営吉野ヶ里歴史公園で、この秋開催する特別企画展「よみがえる邪馬台国」をお知らせいたします。9回目となる今回は弥生時代の遺跡が数多く所在し、「筑紫の宝庫」とも称される福岡県朝倉市周辺地域を中心とした企画展示となっておりますので、ぜひご来場ください。

1. イベント名 **特別企画展「よみがえる邪馬台国」**
～倭人伝の道Ⅴ 邪馬台国と筑紫の宝庫 朝倉～
2. 開催期間 **平成29年9月23日(土)～11月12日(日)**
3. 開催時間 **9:00～17:00**
4. 開催場所 **吉野ヶ里歴史公園 弥生くらし館・佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室**
5. 料 金 **観覧無料** (但し入園料は別途必要です)
〔大人 420円・小人 80円・シルバー(65歳以上) 200円〕
6. イベント内容
 - ・「魏志倭人伝」の記述から、そのルートを辿るシリーズ「倭人伝の道」。5回目となる今年は、福岡県中央部に位置し、弥生時代中期～後期の大規模環濠集落が発掘された平塚川添遺跡をはじめ、弥生時代の遺跡が数多く所在し、邪馬台国九州説では「邪馬台国」の有力候補地とされる朝倉地域に焦点をあて、代表する遺跡の特色や出土資料からその実態や吉野ヶ里遺跡との関係について検証します。
10月1日(日)には特別記念フォーラムを開催し、邪馬台国九州説と近畿説に双方による基調講演、討論会を行います。
 - ・10月8日(日)、28日(土)は無料入園日となっております、駐車料も無料です。(東口大型車駐車場を除く)
7. お問い合わせ **吉野ヶ里公園管理センター**
(〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843)
TEL: 0952-55-9333

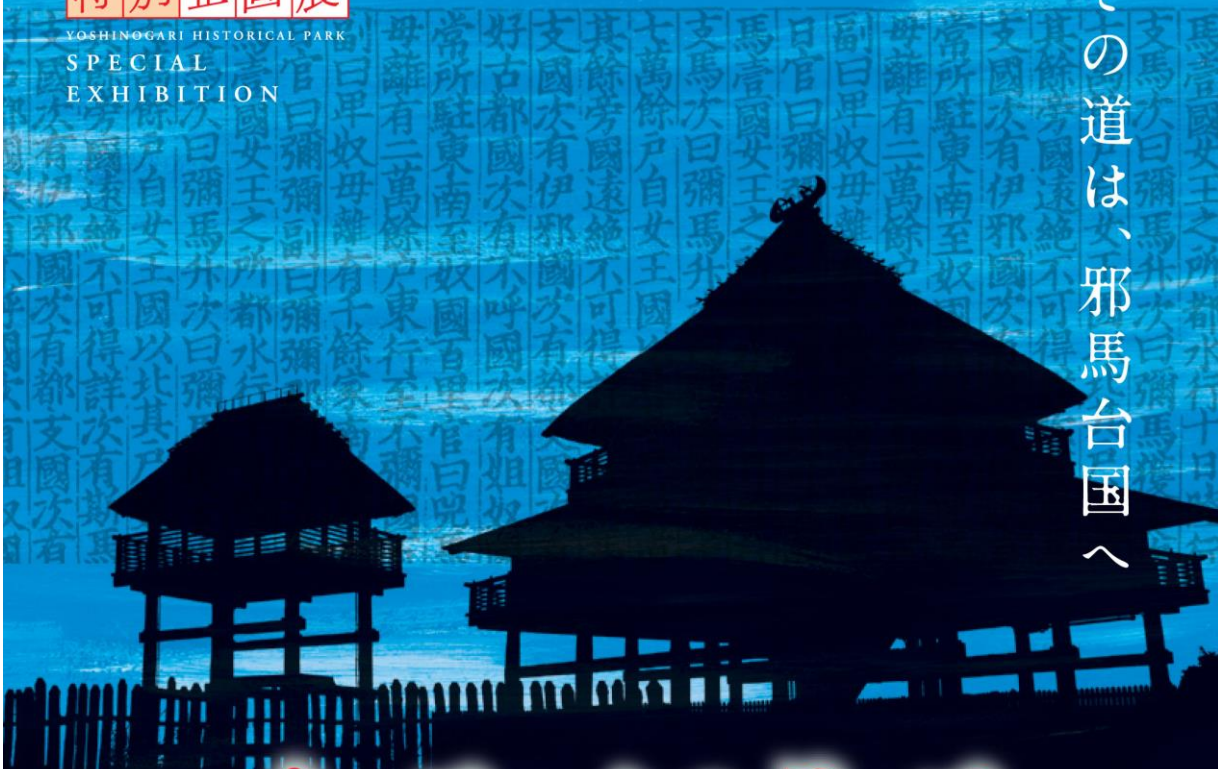
【イベントリーフレット [表]】

吉野ヶ里歴史公園

特別企画展

YOSHINOGARI HISTORICAL PARK
SPECIAL
EXHIBITION

その道は、邪馬台国へ



よみがえる

Y O M I G A E R U Y A M A T A I K O K U

邪馬台国



邪馬台国と筑紫の宝庫 朝倉

開催場所: 弥生くらし館、佐賀県吉野ヶ里遺跡展示室

[主催] 吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体 吉野ヶ里公園管理センター
佐賀県立博物館

[監修] 佐賀女子短期大学名誉教授 高島忠平 [協賛] 株式会社千鳥屋本家

■後援: 国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所、九州国立博物館、佐賀県、神埼市、吉野ヶ里町、佐賀市教育委員会、福岡県教育委員会、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、九州旅客鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、昭和自動車株式会社、NEXCO西日本九州支店、佐賀新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀

■協力: 佐賀県教育委員会、福岡県教育委員会、福岡県立九州歴史資料館、甘木歴史資料館、福岡県立朝倉高等学校、朝倉市教育委員会、うきは市教育委員会、吉井歴史民俗資料館、糸島市教育委員会、伊都国歴史博物館、筑前町教育委員会、筑前町歴史民俗資料館、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県立博物館、岡山市埋蔵文化財センター、倉敷埋蔵文化財センター、岡山大学考古学研究室、小城市教育委員会、小城市歴史資料館、吉野ヶ里町教育委員会

観覧無料 但し入園料・駐車場は有料

2017 9/23 [土] > 11/12 [日]



弥生人の声が聞こえる

吉野ヶ里歴史公園

YOSHINOGARI HISTORICAL PARK

【イベントリーフレット [裏]】

吉野ヶ里歴史公園
特別企画展
YOSHINOGARI HISTORICAL PARK
SPECIAL
EXHIBITION

— 倭人伝の道 [V] —
よみがえる
YOMIGAERU YAMATAIKOKU
邪馬台国

2017 9月23日(土)～11月12日(日)

特別企画展「よみがえる邪馬台国シリーズ」第九回として、「邪馬台国と筑紫の宝庫 朝倉」を開催いたします。

朝倉地域は、弥生中期～後期の大規模な環濠集落が発掘された平塚川添遺跡(朝倉市)、鮮やかに丹塗りにされた祭祀土器群が出土した栗山遺跡(同市)、国内での出土例がきわめて少ない中国式銅剣が発見された中寒水屋敷遺跡(同市)を始め、数多くの弥生遺跡が所在し、「筑紫の宝庫」とも呼ばれています。

また、この地域は、邪馬台国九州説で「邪馬台国」の有力候補地である筑後地域や八女地域の北側にあたり、その所在地を考える上で重要な地域でもあり、「邪馬台国朝倉説」を唱える研究者もいます。

今回の展示では、この朝倉地域に焦点を当て、代表する弥生遺跡の特色や出土資料から、この地域に想定される「朝倉の国」の実態や吉野ヶ里遺跡との関係について検証します。併せて、邪馬台国近畿説で「投馬国(とうまこく)」に比定されるキビ(吉備)に注目し、弥生後期以降、急速に瀬戸内の中核地域へと成長し、独自の墳墓祭祀・葬送儀礼を有するようになった歴史的背景を紹介します。広大な水田が広がる百間川遺跡群(岡山市)、瀬戸内航路の玄関口で大規模な波止場状遺構が発見された上東遺跡(倉敷市)、キビの大首長が眠る巨大な榊築墳丘墓(倉敷市)など、後のヤマト王権の成立に深く関わったとされるキビの代表的な遺跡や出土資料を紹介しながら、改めて邪馬台国時代の吉野ヶ里遺跡の具体的な姿を探ります。

ご利用案内

○開園時間 9:00～17:00

○利用料金 団体は小学生以上の方20名以上

	一般	団体	年間パスポート
大人 (15歳以上)	420円	280円	4,200円
小人 (小・中学生)	80円	40円	800円
シルバー (65歳以上)	200円	200円	2,000円

○駐車料金

普通車:310円 大型車:1,030円 二輪車:100円

○交通のご案内

乗用車 長崎自動車道東脊振IC(約5分)→吉野ヶ里歴史公園

JR 鳥栖駅(約14分) 吉野ヶ里公園駅(徒歩約15分)→公園東口
佐賀駅(約12分)



■お問い合わせ・お申し込み 「吉野ヶ里公園管理センター」

TEL:0952-55-9333 FAX:0952-55-9330

〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843

http://www.yoshinogari.jp/ [吉野ヶ里歴史公園] 検索

※天候等によりイベントの内容が一部変更となる場合があります。



邪馬台国と筑紫の宝庫 朝倉



銅鏃・貫索・銅矛耳部(朝倉市平塚川添遺跡)



貝製腕輪(朝倉市栗山遺跡)



丹塗祭祀土器(朝倉市栗山遺跡)



線刻絵面甕棺(筑前町大木遺跡)



中国式銅剣(朝倉市中寒水屋敷遺跡)

有柄唐製石剣(朝倉市馬田上原遺跡)



細形銅剣(うきは市清宗遺跡)



中細形銅剣(筑前町三並ヒエテ遺跡)



面文雷神獣鏡(朝倉市外之瀬遺跡)



三角縁神獣鏡(福岡県指定文化財)



中広形銅剣(吉野ヶ里遺跡)

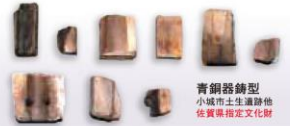
連弧文鏡帯鏡(吉野ヶ里遺跡)



線刻武人像絵面土器(吉野ヶ里町瀬ノ尾遺跡)



土偶(小城市石木中高遺跡)



青銅器鏡型(小城市土生遺跡他)



吉備



龍形土製品(倉敷市矢部)



突縁流水文銅管(R)(岡山市高塚遺跡)



特殊器台と特殊壺(新見市西江遺跡)



弧帯文石(R)(倉敷市榊築墳丘墓)

吉野ヶ里とその周辺

特別記念フォーラム [先着約300名]

よみがえる邪馬台国

「倭人伝の道 V」

時間 13:00～16:40

場所 吉野ヶ里歴史公園センター「多目的ルーム」

- 基調講演 片岡 宏二 先生(行橋市立歴史資料館館長)
宇垣 匡雅 先生(岡山県古代吉備文化財センター所長)
七田 忠昭 先生(佐賀県立佐賀城本丸歴史館館長)

- フォーラム コーディネーター 七田 忠昭 先生
パネリスト 片岡 宏二 先生 宇垣 匡雅 先生

2017
10/1
[日曜日]
開催